

は し が き

この報告書は、平成 14 年度に当研究所が行った、「北東アジアの開発の展望」についての研究の成果を取りまとめたものです。

北東アジアの開発については、これまでも様々な取り組みがなされており、対象分野もインフラストラクチャー、資源エネルギー開発、開発金融、環境、観光など多岐にわたりますが、このような取り組みを通じて、政治体制や経済の発展度合いなどの面での域内の多様性の存在、北朝鮮と日本、韓国の関係、域内諸国の開発問題に対する姿勢の違い、投資に見合った効果への疑問、各分野における現実と構想のギャップなどの問題が浮き彫りになっており、また同時に、個別分野のプロジェクトに整合性を持たせるグランドデザインについても各国の意見の相違が見られます。

今回の研究はこのような問題意識を踏まえて、これまでの研究成果を集約し、北東アジア地域の開発問題についての論点を整理し、その上で個別分野の現状を分析し、他地域との協力関係の構築をも視野に入れた総合的な視点から、北東アジア開発の今後の展望を総括しました。

最後に、この研究に終始積極的に取り組まれ、この報告書の作成にご尽力いただいた研究主査および委員、ならびにその過程でご協力いただいた富山県生活環境部、新潟県総合政策部他関係各位に対して、深甚なる謝意を表します。

なお、ここに表明されている見解は、全て研究会参加者の個人のものであることをお断りしておきます。

平成 15 年 3 月

財団法人 日本国際問題研究所
理事長 佐藤 行雄